

第 1 号議案 平成 30 年度 事業報告

特定非営利活動法人
穂の国まちづくりネットワーク

A.事業の実地に関する事項

(1.特定非営利活動にかかわる事項)

●平成 30 年度事業報告

- ① さぼーと NEWS ほのくに発行
- ② ホームページのリニューアル及び更新
- ③ 相談連絡事業
- ④ 第 18 回定時総会（平成 30 年 4 月 26 日）
- ⑤ 豊川市民まつりおいでん祭（平成 30 年 5 月 26 日、27 日）
- ⑥ おたのしみ交流会（平成 30 年 6 月 27 日）
- ⑦ 中学生の意見を聴く会（平成 30 年 8 月 6 日、8 月 23 日、10 月 25 日、11 月 21 日）
- ⑧ パルク特別講演会（平成 30 年 10 月 21 日）
- ⑨ えがおフェス 2018～やりたいことやってみよう！～（平成 30 年 11 月 11 日）
- ⑩ 穂の国まちづくり塾（平成 30 年 11 月 25 日、平成 31 年 2 月 16 日）
- ⑪ NPO スキルアップ講座 スマホの使い方を学ぼう（平成 30 年 12 月 4 日）
- ⑫ 防災グッズづくりで交流会（平成 30 年 12 月 20 日）
- ⑬ 豊川市防災関係団体交流会（平成 31 年 1 月 17 日）
- ⑭ 穂の国まちづくり塾（平成 31 年 2 月 16 日）
- ⑮ ～みなさまに知ってほしい！精神保健福祉講座～「地域で暮らすために」(平成 31 年 2 月 21 日)
- ⑯ 厚生労働省認定講座 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】（平成 31 年 3 月 3 日、10 日）
- ⑰ 災害時通訳ボランティア及び防災 VC スキルアップ研修（平成 31 年 3 月 9 日）
- ⑱ 講師・主たるコーディネーター
- ⑲ 各種イベント参画及び事業支援
- ⑳ とよかわボランティア・市民活動センタープリア運営に関する業務

●詳細

- ① 事業名称：さぼーと NEWS ほのくに発行
事業目的：会報誌を発行することで、地域の団体の情報発信の支援を行う。
企業の社会貢献事業を載せることで、社会貢献事業の啓発につなげる。
各種団体・事業所に情報を発信することで、ネットワークをつなげていく。
発行回数：3 回（4 月号、10 月号、新春号）
発行部数：3,800 部 会員及び市内施設・各地サポートセンターなどへ配布。
- ② 事業名称：ホームページのリニューアル及び更新
事業目的：あらゆる情報の発信を目指し、多くの方々へ支援を行う。
ネットワークをつなげていきながら、さまざまな団体を知り、今後に活かす。
コメント：市民活動情報の随時掲載やイベント情報の提供を行い、情報提供と同時にネットワークを結んでいくことができている。
今後も各地の情報を提供することで、広がりを見せたい。

③ 事業名称：相談連絡事業

内 容：各種相談、問い合わせ対応（個人、団体）

- 1.NPO 設立事前相談
- 2.NPO 法人申請相談
- 3.助成金申請アドバイス
- 4.ボランティア活動実践アドバイス
- 5.団体紹介、連絡調整
- 6.その他

④ 事業名称：第 18 回定時総会

事業目的：平成 29 年度の事業報告・収支決算案および平成 30 年度の事業計画・予算案ならびに役員選出の件について承認を受けるための総会。

日 時：平成 30 年 4 月 26 日（木） 18：00～19：00

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参加者：会員総数 71 名中出席者 30 名（委任状 22 通）来賓 16 名

内 容：平成 29 年度事業報告ならびに収支決算報告承認
平成 30 年度事業計画ならびに活動予算承認

コメント：平成 29 年度事業内容について、再確認することができた。また、平成 30 年度の事業展開も明確になった。

⑤ 事業名称：豊川市民まつりおいでん祭

事業目的：豊川市民まつりおいでん祭に参加し、多くの市民への活動 PR とともにセンターの周知を行っていく。

日 時：平成 30 年 5 月 26・27 日（土・日）10：00～16：00

場 所：豊川市野球場

参加者：一般市民、近隣市町村住民 約 1,900 名

内 容：パネル展示、アンケート&クイズの実施など

コメント：土日とも天候に恵まれ、多くの方に来場してもらうことができ、アンケートにも協力してもらえた。センタープリオの相談受付曜日に変更になったことを知らない方が多かったが、アンケートに入れたことで周知できた。



⑥ 事業名称：おたのしみ交流会（平成 30 年 6 月 27 日）

事業目的：センター登録団体に対して交流や意見交換の場所を持ち、団体間の連携や普段の活動に活かしてもらう。

日 時：平成 30 年 6 月 27 日（水）13：00～15：00

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参加者：センター登録団体 約 23 名

内容：スノードーム作りをしながら、それぞれの団体の現状について（活動していて嬉しかったこと、支援してほしいこと、イベントの宣伝などを話してもらった。）

コメント：各テーブルで会話しながら作業をしたり、隣の人の作業を手伝ったりなど交流ができていたように感じられた。また活動の宣伝の場にもなったようだ。



⑦ 事業名称：中学生の意見を聴く会

事業目的：中学生の考えること、また、できることなど意見を出していただき、次代を担う人材育成につなげる意見を聞く。

日時：平成 30 年 8 月 6 日（月） 10：00～11：30（豊川市立南部中学校） 25 名

平成 30 年 8 月 23 日（木） 13：00～15：00（豊川市立金屋中学校） 21 名

平成 30 年 10 月 26 日（金） 8：55～10：45（豊川市立一宮中学校） 151 名

平成 30 年 11 月 21 日（水） 13：40～15：30（豊川市立小坂井中学校） 36 名

場所：各中学校

参加者：市内中学校 約 233 名

内容：中学生に豊川市のまちづくりでできると思うことを考え、意見を出し合ってグループごとに発表を行った。

コメント：自分たちでイベントを考えプレゼンをする中学もあり、伝統を守りつつも新しい事を考えていく積極的な生徒の姿を多く見ることができた。



⑧ 事業名称：NPO 法人パルク 第 7 回特別講演会

事業目的：講演を通じて、思春期、移行期の対応を学ぶ

日時：平成 30 年 10 月 21 日（日） 14：00～16：00

場所：ゆうあいの里 多目的ホール

参加者：約 200 名（事務局 4 名）

内容：『子どもから大人へ 学校から社会へ』講演：三木 裕和 氏
～移行期を見据えて、大切なこと、育てておきたい力～

コメント：チラシ、ポスター、横断幕の作成、当日の準備・片づけの手伝い、司会進行準備の段階で椅子を出しすぎたが、結果当日来られた方もいたので丁度よかった



⑨ 事業名称：えがおフェス 2018～やりたいことやってみよう～

事業目的：穂の国まちづくりネットワーク、運営受託しているセンターとして参加することで多くの人の目に留まり、広報が出来る。また登録団体や地域の人とのふれ合いを通じ、まちづくりへつなげていく。

日 時：平成 30 年 11 月 11 日（日）13:00～16:00

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ、豊川市プリオ生涯学習会館、市民交流ホール

参加者：約 1050 名

内 容：団体活動紹介・施設紹介コーナー 体験・販売コーナー、ステージ企画

コメント：今回初めて穂の国ネットのみで、えがおフェスを開催したが、短い時間だったにもかかわらず、多くのお客さんが来場してくれた。



⑩ 事業名称：穂の国まちづくり塾

事業目的：講演を通じて、自分事で考えるまちづくりを考えてもらう。

日 時：平成 30 年 11 月 25 日（日）14：00～17：00

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参加者：センター登録団体、各市町行政関係者など 約 30 名

内 容：“自分ごとで考えるまちづくり”講演とトランプなどを使ったワークショップ

コメント：ワークショップでは簡単なゲームをしながら楽しくコミュニケーションの方法を学んだ



⑪ 事業名称：NPO スキルアップ講座 スマホの使い方を学ぼう

事業目的：使っているスマホの知らない部分を知り、セキュリティ強化をして安全に使用する

日 時：平成 30 年 12 月 4 日（火） 14：00～15：30

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参 加 者：センター登録団体 約 18 名

内 容：スマホと iPhone の違い、セキュリティについて

コメント：聴くだけでなく、実際に iPhone を操作しながらの実践の時間もあり実践的であった



⑫ 事業名称：防災グッズづくりで交流会

事業目的：手軽に作れる防災グッズを作りながら他の団体との交流を図る

日 時：平成 30 年 12 月 20 日（木） 13：30～15：00

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参 加 者：センター登録団体 約 26 名

内 容：新聞紙で作る簡易スリッパ、牛乳パックで作る簡易笛

コメント：最初にビデオを見てからの実践だったが、各テーブルごとに教える人（VC の会のメンバー）が必要だと思った



⑬ 事業名称：豊川市防災関係団体交流会

事業目的：豊川市内の防災団体のネットワークを作ることにより災害時の連携につながる。また防災以外の団体も参加してもらうことにより、まち全体で防災意識を高めていく。

日 時：平成 31 年 1 月 17 日（木） 19：00 ～ 20：45

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参 加 者：約 21 名（団体+事務局）

内 容：コミュニケーション支援ボードについて紹介（防災対策課）
グループワーク・各団体の活動報告

コメント：どのグループにも防災系、福祉系、市役所の方が必ず一人はいるようにした。これにより他の団体の知識を共有できる交流会となった。

今回の交流会では、豊川市役所防災対策課が作ったコミュニケーション支援ボードに焦点をあて、シミュレーションカードを使いグループワークを行った。これにより、コミュニケーション支援ボードを知らなかった団体や知っ

ていたが見たことはなかった団体の方々に周知することができた。



⑭ 事業名称：穂の国まちづくり塾

事業目的：講演を通じて、自分事で考えるまちづくりを考えてもらう。

日 時：平成 31 年 2 月 16 日（土）13：30 ～ 15：30

場 所：豊川市勤労福祉会館 大研修ホール

参加者：約 300 名（一般の方、各市町行政関係者など）

内 容：平成 28 年 12 月 22 日に発生した糸魚川市駅北大火について、大火を経験して伝えたいことを語っていただいた。

コメント：アンケートに答えていただいた方にお配りした景品の中に安心メールへの登録案内を添付したことにより、防災を周知することができたのではないかと。



⑮ 事業名称：「みなさまに知って欲しい」精神保健講座 傾聴とは？

事業目的：精神障がい一般市民やボランティア活動従事者に知ってもらい、理解を深めてもらう

日 時：平成 31 年 2 月 21 日（木）13：30 ～ 16：00

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参加者：一般市民、ボランティア活動者、民生委員、福祉関係職員など合わせて約 80 名

内 容：「傾聴とは？」をテーマに傾聴ボランティア“さくら貝”代表 市原蓉子氏の講演及びグループワーク

コメント：毎年メンタルネットとよかわ、豊川保健所の協力のおかげで精神保健福祉講座を開催することができてきており、市内の一般市民からも講座に参加される方が増えてきている。



⑩ 事業名称：厚生労働省認定講座 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】

事業目的：強度行動障害を有する方の日常生活や社会生活へのニーズに対応するため、適切な支援を行うことができる人材の養成

日 時：平成 31 年 3 月 3 日（日） 3 月 10 日（日） 14：00 ～ 15：30

場 所：とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

参加者：福祉施設関係者など 約 40 名

内 容：○講義…強度行動障害がある者の基本的理解
強度行動障害に関する制度及び支援技術の基本的な知識
○演習…基本的な情報収集と記録等の共有
行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解
行動障害の背景にある特性の理解

コメント：講師の方々の実際に起こったことを交えた講座や、演習で行った グループワークを通じ、受講生から日頃疑問に思っていたことが解決できたとか、学んだことをすぐ実践してみたいなどの声を聞くことができた。



⑪ 事業名称：災害時通訳ボランティア及び防災 VC スキルアップ研修

事業目的：防災意識の向上や災害について学んでいただく機会として開催し、防災ゲームを通して参加者が発災時に起こりうる事態をシミュレーションし考えてもらう。

日 時：平成 31 年 3 月 9 日（日） 11：00 ～ 15：30

場 所：豊川市勤労福祉会館 視聴覚室及び調理室

参加者：約 52 名（理事 2 名）

進 行：豊川防災ボランティア VC の会

内 容：災害への備え・非常食（パッククッキング）について
「コミュニケーション支援ボード」について
災害時通訳ボランティア登録について

コメント：今年は初めて勤労福祉会館での開催となった。その結果、調理室でパッククッキングを行うなど講座の可能性が広がった。



⑱ 事業名称：講師・主たるコーディネーター

1. 東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会
2. 支え合いのある地域づくり懇談会
3. 市役所 職員研修（協働講座）講師
4. 新城市市民活動相談委員

⑲ 事業名称：各種イベント参画及び事業支援

1. 豊川市民祭り おいでん祭参画
2. 高校生インターンシップ受け入れ（小坂井高校）

⑳ 事業名称：とよかわボランティア・市民活動センタープリア運営に関する業務

内 容：とよかわボランティア・市民活動センタープリア指定管理受託

1. 情報の発信とよかわボランティア・市民活動センターだより 年4回発行
2. 相談・コーディネート業務 年間799件
3. 交流会 年3回
4. 講座 年3回
5. 市民活動センタープリア運営委員会（自主事業）

各種イベント参画

1. 豊川市民まつり おいでん祭参画
2. えがおフェス2018 ～やりたいことやってみよう～ 参画

(2. その他の事業

本年度は実施せず。

B 理事会の開催に関する事項

平成30年

平成31年

4月20日（金） 第95回理事会
6月6日（水） 第96回理事会
8月29日（水） 第97回理事会
10月24日（水） 第98回理事会
12月19日（水） 第99回理事会

2月13日（水） 第100回理事会
4月3日（水） 第101回理事会
（※定款第37条により電磁的表決）
4月24日（水） 第102回理事会

《MEMO》

活動計算書(案)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費収入	162,000		3,000×54名
賛助会員会費収入	24,000	186,000	2,000×12名
2. 事業収益			
1)市民活動センター受託	18,195,000		豊川市より受託
2)特別研修講座	720,000	18,915,000	受講者より
3. その他収益			
受取利息	56	56	利息
経常収益計			19,101,056
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給与手当	8,316,751		
法定福利費	476,744		社会保険料等
人件費計	8,793,495		
(2)事務費			
需用費	2,794,369		消耗品、印刷、修繕等
役務費	1,381,279		保険料、通信費、手数料等
委託費	3,901,824		開発ビル
租税公課	675,700		消費税等、印紙代
事務費計	8,753,172		
(3)センター事業費			
交流会費	175,057		
研修事業費	118,838		
フェスティバル費	267,087		
センター事業費計	560,982		
事業費計		18,107,649	
2. 管理費			
(1)経 費			
研修費	88,740		
啓発費	67,764		
広報費	49,968		
特別研修費	502,277		
租税公課	26,700		
経 費 計	735,449		
管理費計		735,449	
経常費用計			18,843,098
税引前当期正味財産増減額			257,958
法人税、住民税及び事業税			21,000
当期正味財産増減額			236,958
前期繰越正味財産額			2,540,614
次期繰越正味財産額			2,777,572

その他事業を行っていません

平成30年度「特非 穂の国まちづくりネットワーク」財産目録(案)

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 穂の国まちづくりネットワーク

科 目	金 額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	686,709		
普通預金 豊川信用金庫 3746655	1,743,188		
普通預金 豊川信用金庫 4505997	1,461,699		
普通預金 名古屋銀行 3415328	468,589		
未収金	0		
前払費用	19,450		
流動資産合計		4,379,635	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,379,635
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,454,083		
預り金	147,980		
前受金	0		
流動負債合計		1,602,063	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,602,063
正味財産合計			2,777,572

平成30年度「特非 穂の国まちづくりネットワーク」貸借対照表(案)

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 穂の国まちづくりネットワーク

科 目	金 額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,360,185		
未収金	0		
前払費用	19,450		
流動資産合計		4,379,635	
2 固定資産			
車両運搬具	0		
減価償却累計額	0		
什器備品	0		
減価償却累計額	0		
電話加入権	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,379,635
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,454,083		
預り金	147,980		
前受金	0		
流動負債合計		1,602,063	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,602,063
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,540,614	
当期正味財産増減額		236,958	
正味財産合計			2,777,572
負債及び正味財産合計			4,379,635

監査報告

平成 30 年度特定非営利活動法人 穂の国まちづくりネットワーク事業報告をはじめ、会計決算について、慎重厳正に監査したところ、収支計算、関係帳簿及び証憑書類の取り扱いの処理に誤りはなく、決算が適正に行われていたことを報告します。

平成 31 年 4 月 日

特定非営利活動法人 穂の国まちづくりネットワーク

監事 印

監事 印

穂の国まちづくりネットワーク 平成 31 年度事業計画 (案)

特定非営利活動法人穂の国まちづくりネットワーク

代表 神谷典江

今年度は日本の元号の変わる新たな年を迎え、私たちの動いている活動においても参画する団体や個人、企業、などに新しい変化を期待する年でもあります。

さて、当法人の拠点とする豊川市では、市民憲章を

「きよらかな山河、輝く海、自然を守り住みよいまちに」

「歴史に学び、明日を創る、文化の香りあふれるまちに」

「健康で、はたらくことに夢をもち、力を合わせて豊かなまちに」

「よい子、よい友、よい家庭、次代へつなぐ共生のまちに」

「心を合わせてきまりを守り、安全で安心できる希望のまちに」としています。

ふるさとを思う多くの人々によって受け継がれてきたこの恵みを大切にしながら、心豊かに暮らせるまちづくりを目指して創られていると感じています。

まちづくりの原点は、主役である市民が、自らの責任により、主体的に関わることです。穂の国まちづくりネットワークの「ひとりひとりの気持ちを集めて、みんなのまちづくりの原動力に」は、多くのみなさまとともに生きやすい世の中を自身が主役となって動いていけるように定めたミッションです。地域のためにも自分たちのためにも、多くを学び、地域で動ける人を増やしていきたいと願います。今年度も中間支援団体としてあらゆる支援の提案とつなぐ役目を果たしていきたいと考え、活動していきます。

また、豊川市が第 6 次総合計画で打ち出している協働は、市民、議会および行政や企業がともに、協働のまちづくりをすすめるため、動き出しています。協働のハンドブックも発行されました。

穂の国まちづくりネットワークが法人格を取得した平成 13 年から 18 年が経ち、拠点の提案や活動場所の提案、情報発信の提案など、少しずつではありますが、形になってきています。

協働においても行政と連携を持ち、職員の協働への意識も変化を感じるようになってきました。中間支援団体としての責務も果たせてきているように感じます。

しかしながら、活動している住民層は、変わらず高齢化しています。幅広い年代のまちづくりへの参画も現実とする時がきていると考え、3 年前から継続事業している中学生の考えるまちづくりの提案が今年で最終年度を迎え、穂の国ネットとしての提案が届けられる年となっています。

できることをできる時にできる人がやっていくまちづくりに多くの住民が参画できるつなぎ役も目指して活動してまいります。

平成 31 年度主な事業

① 情報収集と発信

講座受講者へのボランティア情報発信

イベントボランティアへの情報発信

② 人材養成講座

③ 授産品や福祉施設、他協会等の情報提供

NPOに限らず、福祉施設等とも協働し、提供していきます。

④ ボランティアや会員募集の情報の提供

⑤ 行政等へのさまざまな提案

⑥ 協働の手引きの周知・事業提案

⑦ 強度行動障害支援者養成研修

⑧ ボランティア・市民活動センタープリア受託運営

<年間事業計画>

1. ネットワークづくり

① 市内各種団体との交流

活動分野ごとの交流会

保健所との連携

警察署との連携

商工会議所など事業者との連携

② 活動情報の提供・発信

さぼーとNEWSほのくに

近隣センターとの情報共有

ホームページでの発信など

③ 他市団体との連携

④ まちづくり講座

- 精神保健講座（保健所との協働開催）

- 防災講座（国崎信江氏講演会、豊川市と協働開催）

中学生まちづくり講座（豊川市、豊川市教育委員会と協働開催）

災害時通訳ボランティア養成講座

（豊川市、豊川市国際交流協会と協働開催）

食育啓発パンフ作成（食育推進団体 さつきの会との協働）

⑤ 豊川市内でのイベントボランティア支援、人材育成

⑥ 強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）

2. 活動団体への支援

- ① 講演会の共催、実働のある後援、協働開催事業の提案
- ② 専門性のある活動相談支援（新城市も同様）
- ③ 課題解決にむけたアドバイス（豊橋市支え合いのまちづくり）
- ④ 東三河各市町の行政・支援NPO活動の調査・研究

3. あらゆる機関への提言・まちづくりの提案

4. とよかわボランティア・市民活動センタープリア運営に関する業務

- ① とよかわボランティア・市民活動センタープリア 指定管理受託
 - (ア) 情報の発信とよかわボランティア・市民活動センターだより 年4回発行
 - (イ) 相談・コーディネート業務
 - (ウ) 交流会
 - (エ) 講座
(団体・個人にむけてのスキルアップ講座)
 - (オ) センター利用団体の運営委員会
- ② 各種イベント運営・企画
えがおフェス2019
- ③ 各種イベント参加協力
 - (ア) 豊川市民まつり おいでん祭
 - (イ) 玉木孝治ビブラフォンコンサート

活動予算書(案)

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費収入	162,000		3,000×54名
賛助会員会費収入	24,000	186,000	2,000×12名
2. 事業収益			
1)市民活動センター受託	18,117,000		豊川市より受託
2)特別研修講座	720,000	18,837,000	受講者より
3. その他収益			
受取利息	1,000	1,000	利息
経常収益計			19,024,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給与手当	8,349,000		
福利厚生費	500,000		社会保険料等
人件費計	8,849,000		
(2)事務費			
需用費	2,893,000		消耗品、印刷、修繕等
役務費	1,275,000		保険料、通信費、手数料等
委託費	4,030,000		開発ビル
租税公課	670,000		消費税及び印紙代
事務費計	8,868,000		
(3)センター事業費			
交流会費	140,000		
研修事業費	60,000		
フェスティバル費	200,000		
センター事業費計	400,000		
事業費計		18,117,000	
2. 管理費			
(1)経費			
研修費	90,000		
啓発費	46,000		
広報費	50,000		
特別研修費	550,000		
租税公課	27,000		
経費計	763,000		
管理費計		763,000	
経常費用計			18,880,000
税引前当期正味財産増減額			144,000
法人税、住民税及び事業税			21,000
当期正味財産増減額			123,000
前期繰越正味財産額			2,777,572
次期繰越正味財産額			2,900,572

特定非営利活動法人 穂の国まちづくりネットワーク

平成 31 年度役員（案）

理事（代 表）	神谷 典江
理事（副代表）	菅沼由貴子
理事（副代表）	河合美恵子
理事	春田 和彦
理事	伊奈 克美
理事	岡本由紀子
理事	白石 憲邦
理事	豊田 和浩
理事	加藤 純也
監事	小野 喜明
監事	山本 拓哉
参与	長谷川卓也
参与	山本 雅堂